

# 柏市 GIGA スクール



柏市教育委員会指導課

## 基本 コンセプト

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる  
～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本的な資質・能力を育てる～

### 目指す所

生涯にわたって学び続け、未来の柏をつくる

柏市の掲げる「学ぶ意欲」を身に付け、生涯にわたって主体的に学び続けることを目指します。

### 取り組み

社会につながる活用・情報活用能力・授業改善

これまでの  
教育実践



ICT

=

学習活動の一層の充実  
主体的・対話的で深い学びの視点をもった授業実践

様々な場面でICTを活用し、情報を収集、整理、比較検討していく中で、学習の基盤となる情報活用能力を育成していきます。柏市としてはStepを設定し、段階的に経験を重ね、学んだことを使い、鍛える中で基本的なスキルを身につけていきます。

### 環境

1人1台端末・学びの環境整備

#### GIGAスクール構想

#### 令和の時代の学びへ

- ・1人1台のタブレット端末
- ・高速大容量のネットワーク環境
- ・クラウド活用

端末を、えんぴつやノートと同じ

文房具のように、指示がなくても自分で使う  
いつでも必要な時に

小学校1、2年生にはiPad  
小学校3年生～中学校3年生  
まではChromebookを市から貸与  
します。基本的に学年が上がっ  
ても同じ端末を使います。

児童生徒、そして教  
職員一人ひとりに、  
学習用アカウントを  
発行します。

## 令和の学びの環境

### 主体的・対話的で深い学びへ

「クラウド活用」

地域

アプリを使う  
学びの記録を残す  
いつでも使える

いつでもみんながつながる

高速なネットワーク

持ち帰りについては、GIGA  
スクール研究校の先行実施  
の検証を行ってから全校に  
広がっていきます。

家庭

学校

1人1台 自分の端末

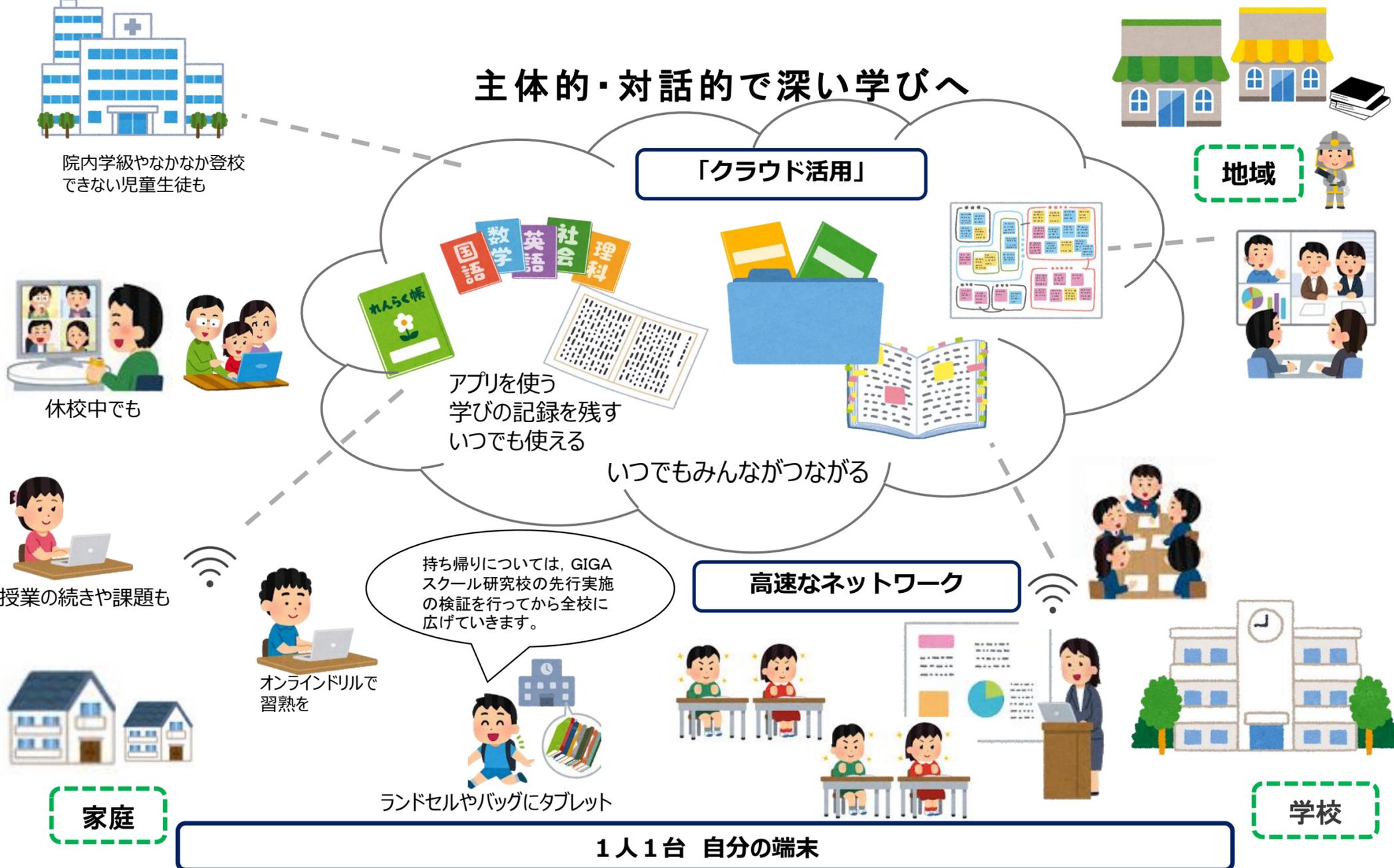
院内学級やなかなか登校  
できない児童生徒も

休校中でも

授業の続きや課題も

オンラインドリルで  
習熟を

ランドセルやバッグにタブレット



# 柏市GIGAスクールQ&A

GIGAスクール構想の実現に向けた柏市の取り組みについて御紹介します

	<b>GIGAスクールってどういう意味ですか？</b>
	GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、日本語に訳すと「全ての人に国際的で革新的な入口を」という意味です。誰一人取り残すことなく、子ども達一人ひとりの能力に合わせて、最も適した学びの場を提供するため、ICT技術（情報通信技術）を使うということなのです。
	<b>なぜ今、GIGAスクールが必要なのですか？</b>
	学習指導要領では、情報活用能力が各教科の学習の基盤となる資質・能力であると位置づけています。先進国37か国が加盟するOECD（経済協力開発機構）が行った学習到達度調査では、日本の子ども達は「読解力」が低下していると同時に、情報を探し、整理・比較したりする等の情報活用能力が低下している傾向があることがわかりました。ゲームや友達とのメッセージのやり取りはするが、学習の中ではうまくICTを活用できておらず、また活用できないのではなく活用できる環境が学校にはないというのが現状です。その環境を整え、子ども達の学びを変えていこうというのがGIGAスクールです。
	<b>GIGAスクールはいつからスタートするのですか？</b>
	現在、校内LAN工事が各校で始まっています。各教室のWi-Fi環境を整え、1人1台の端末も3月末までに導入する予定です。学校で本格的に使えるようになるのは4月からとなりますが、先生方もはじめてのことなので、少しずつステップを踏みながら段階的に進めていこうと考えています。
	<b>新しい端末は柏市が用意するのですか？ 柏市の児童生徒となるとかなりの数ですが…</b>
	柏市の議会での手続きを経て、約32,000人の全児童生徒に貸与できるよう、柏市で用意します。1人1台の端末が使えますが、あくまで柏市からの貸与品ですので、大切に扱うようにお願いします。
	<b>どんな端末が入ってくるのですか？</b>
	小学校1,2年生はiPad、小学校3年生～中学校3年生まではChromebookを選択しました。操作性や起動性等、様々な観点で評価を行い、柏市の目指す教育に適したものを選択しています。基本的に学年が上がっても同じ端末を活用します。例えば、中学校では、1年生で借りた端末を3年生まで使い、卒業した学年のものを新1年生へと渡すローテーションを考えています。
	<b>その端末を使って学校でどんな学びができるようになるのですか？</b>
	<b>★考えを共有し、多様な意見に触れる「協働学習」ができます。</b> 全員で自分の考えを書き込んだり、一つのワークシートにグループで同時編集したりすることが可能になります。各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられるようになるので、発言する子の意見共有だけでなく、発言しない子の意見共有もできます。友達の考えを参考にしながら自分の考えをより深めることも可能になります。 <b>★一人ひとりの反応を踏まえた双方向型の「一斉授業」ができます。</b> 先生から端末に課題を配付し、一人ひとりの端末で見ることができ、また先生に課題を提出することができます。一人ひとりの反応を確認することができ、なかなか理解できていない子のフォローも可能になります。 <b>★一人ひとりの進捗や学習状況に応じた「個別学習」が実現できます。</b> 学習に必要な動画を自分のペースで繰り返し見たり、オンラインドリルで自分のペースで学習をしたりすることができます。学習用アカウントは中学卒業まで使うので、自分の学びを蓄積しておくこともできます。
	<b>家にも端末を持ち帰るのですか？</b>
	持ち帰りについては、研究校で先行して実施し、検証を行います。そこで、どんなことができるか、どんなことが困るか、どんな運用の仕方が良いのか等、いろいろな検証を行ってから全校展開することを考えています。時期についてもその検証を踏まえて決定していきます。
	<b>端末をこわしてしまったり、なくしてしまったりしたらどうなるのですか？</b>
	基本的に破損については、保守対象（公費で修理）となります。しかし、故意で壊してしまったり、重大な過失がある時は、御相談させていただくことがあります。